

地域再生計画(第1回)の認定について

地域再生計画(7件)

(平成16年6月21日認定分)

申請主体	計画名称	計画の概要	支援措置の内容
浜田市	海彦・山彦活性化計画 (地域資源を活用した観光再生計画)	浜田市は、海、山等の自然に恵まれ、古くから水産都市として栄えてきた。しかし、近年は漁業・農業ともに後継者不足等により低迷している。一方で、平成12年度の海洋型ミュージアム「アクアス」のオープンにより、海や山等を活用した観光振興が求められている。このような中、民間の有志により、マリトレジャーを中心とした海の活用、農業体験や農家民泊(B&B)などによるグリーンツーリズムの取り組みが進みつつあることから、これらの取り組みを支援するとともに、観光施設や、観光情報の一元化を図り、海や山等の自然を生かした観光振興を目指す。	観光関係の施策連携(共通プラットフォーム) 「地域再生支援チーム」の設置 「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実
益田市	益田市歴史・芸術文化・観光のまちづくり再生計画	益田市縁の柿本人麻呂、雪舟の作品やこれに関するものや、益田氏の城館跡などの歴史的資産の活用と、島根県芸術文化センター(グラントワ)を拠点に、石見神楽や糸繰り人形などの文化芸術的資産の伝承と後継者の育成などと連携させ、新たな魅力ある観光地として再構築し、これらに携わる市民間のネットワークを形成し、益田市への集客を増やし、地域の商店街とも連携して、地域の再生を図ることを目指す。	文化芸術による創造のまち支援事業の活用 まちづくり交付金の創設
江津市	江の川を活かした地域再生計画	これまで、流域に幾多の災害をもたらしてきた中国地方一の大河「江の川」も、他方では肥沃な土壌を運び、優良な農地を形成するなど、地域住民の生活にとって大きな役割を果たしている。このたび、下流域の江津市と桜江町が市町合併するのを機に、双方にとって共通の地域資源であるこの「江の川」の活用を行政と住民が協働で推進し、併せて新市の一体感の醸成も図る。まず、この取り組みの初めとして川沿いへの桜並木を創設する。	「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実 河川占有における「包括占有制度活用ガイドライン」の策定等
雲南市(加茂町)	加茂町中心市街地活性化計画	本町の中心部にある商店街が、駐車場不足や大型店舗の郊外進出等により、空き家及び空き店舗が目立ってきた。また、役場などの公共施設が、町村合併に伴い利用目的の見直しを必要とされており、新たな活用方法の検討が急務となった。そこで、本町に数多くある遺跡や文化財を活かした、魅力あるまちづくりを住民と行政の協働により実現し、定住対策と交流人口の増加を図っていく。さらに地域住民の活動拠点を整備し、自主的な地域活動を支援することにより地域コミュニティーを再生し、地域の活性化を図っていく。	公共施設の転用に伴う地方債繰上償還免除 公共施設を転用する事業へのリニューアル債の措置 まちづくり交付金の創設

地域再生計画(第1回)の認定について

地域再生計画(7件)

(平成16年6月21日認定分)

申請主体	計画名称	計画の概要	支援措置の内容
雲南市(吉田村)	稲と鉄のフィールド交流による地域再生	本村はたたら製鉄で栄え、日本で唯一のたたら遺産、菅谷たたら山内を有する村である。村内では経営者と労働者が別個の街を構成した独自の空間を有している。これらの街並みを起爆剤として、交流型の商業農業を展開し、交流人口を増大させ、市町村合併に伴う周辺過疎の人口減少から脱却し、定住人口を確保する。具体的には、まちづくり交付金制度導入を伴う街並整備の促進、商店街による北前船による流通展示、農家によるグリーンツーリズムの展開を通して、地域の活力を生み出していく。	<p>まちづくり交付金の創設</p> <p>河川占有における「包括占有許可制度活用ガイドライン」の策定等</p> <p>路地や細街路の美しいたずまいの保全・再生</p> <p>都市と農山漁村の共生・対流に関する施策の連携強化</p>
隠岐の島町	「島まるごとテーマパーク ～島ならではの体験ゾーン～」 - 観光を基軸に交流・産業を創出するまちづくり -	<p>・島の経済を支えていた公共事業を主とした建設業や行政サービス業は、市町村合併や公共事業の減少により衰退が予想され産業の転換が必要となっている。また、島の基幹産業であった水産業も、資源の枯渇と漁獲高の減少により低迷している。</p> <p>・大山隠岐国立公園に指定されている豊かな自然、離島であるがゆえに残された歴史文化を保存活用し、地域資源を活かした島ならではの「観光のまちづくり」を進め、新たな活動・事業を展開することで交流人口の拡大を目指すとともに、住民にとって魅力のある島後、若者・女性にとってやりがいがあり、働きやすい環境を創出するため、隠岐島後で町村・民間が一体となった取り組みを展開していく。</p>	<p>民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化</p> <p>道路使用許可・道路占有許可の手続き改善</p> <p>道路占有における「市町村推奨ルール」の導入</p> <p>林業・水産業等の連携</p> <p>「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実</p> <p>案内標識に関するガイドラインの策定</p> <p>エコツーリズムに対する支援</p>
海士町	海士デパートメントストアープラン ～「選ばれし島」まるごと届けます～	離島は海で閉ざされているが故に、明確なアイデンティティを共有した、支え合いと助け合いの社会を形成してきた。しかし、過疎少子化と高齢化により人口構成にひずみが生じ、地域コミュニティの維持が困難になってきている。この地域再生構想は、時間と距離という離島物流のハンディを解消する機能、CAS(キヤス・細胞を壊さない冷凍新技術)を活用した、農林水産物保存加工の新産業を興すことで、雇用と定住促進を図り、美しい町並みと世代バランスのとれた地域社会の復活と目指して、島のサスティナビリティを追求する。	<p>地域雇用機会増大促進事業の実施可能な地域の追加</p> <p>まちづくり交付金の創設</p>